



平成29年度インフルエンザワクチン説明文

平成29年度のワクチンは、今年度流行すると予想されるA型インフルエンザ2種類と、B型インフルエンザ2種類の計4種類に有効な成分を含む4価の国内産ワクチンです。今年度から、効果を高めるため幼児の予防接種量が増量されます。詳しくは問診票をご覧ください。

インフルエンザワクチンは、重症化の予防に効果が認められていますので、積極的なワクチン接種をおすすめします。

【接種を受けるとき】

接種に当たり、健康状態をよく把握する必要があります。予診票は正確にご記入ください。もし、普段と変わったことがあった場合には、問診・診察の際に医師にご相談ください。

(当日の体温が普段より高めである場合など)

【接種を受けることが適当ではない方】

次のいずれかに該当する場合には、接種を避けてください。

- 1 体温が37.5℃以上の方。
- 2 重篤な急性疾患にかかっている方。
- 3 以前にインフルエンザワクチンで急性の全身アレルギー反応をおこした方。
- 4 上記のほか、予防接種を受けることが不相当と医師が判断した方。

【接種の判断を行うに際し、注意を必要とする方】

健康状態および体質を考慮して、次のいずれかに該当する場合は、注意して接種を受ける必要があります。(※接種医に、ご相談ください。)

- 1 心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患等の基礎疾患を有する方。
- 2 過去の予防接種で2日以内に発熱や、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状をおこした方。
- 3 過去にけいれんを起こしたことがある方。
- 4 過去に免疫不全と診断された方。
- 5 本剤の成分又は鶏卵・鶏肉、その他鶏由来のものに対しアレルギーを起こす恐れのある方。
- 6 接種当日の体温が通常より高い場合は、医師にご相談ください。

【ワクチン副反応と接種後の注意事項】

接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などがおきることがあります。もし異常反応や体調の変化、さらに高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

接種後は、入浴しても差し支えありませんが、接種部位は強く擦らず、清潔に保ってください。

当日はいつもどおりの生活に心がけ、激しい運動や飲酒は避けてください。

【予防接種健康被害救済制度】

万が一、予防接種で重篤な副反応が発生し、後遺症が残ったり、死亡した場合には公的制度により補償がおこなわれます。